

コミュニティ協議会との意見交換等のまとめ 個表

関前コミュニティ協議会

① 運営の工夫・利用者（住民の満足度）の向上

利 用者への配慮と適切な対応	<p>【現状】新たに運営委員を中心に「ガーデニングチーム」を立ち上げ、花壇の整備や草花の植え付けを行い、利用者の憩いの場となるようにしている。</p> <p>【工夫している点】経験豊富な参加者によるワンポイントアドバイスを行っている。例えば剪定個所や水やり等。</p>
新 しい利用者・利用団体の増加	<p>【現状】日頃から音楽室を利用し楽器の練習等をしている人たちの発表の場として関前ミュージックフェスティバルを開催している。</p> <p>【工夫している点】以前コミセン祭りの中で「カラオケ大会」を実施していたが、音楽室利用者のコーラス・ウクレレ・ピアノ・ギター等幅広いジャンルと幅広い年齢層の方が、参加できる催し物にした。</p> <p>【特筆すべき成果】地域の音楽を楽しまれる方たちにも毎年声かけをすることで参加者の輪が少しずつ広がり、多くの利用者と地域の皆さんとが交流する一日になってきている。</p>
施 設の利用方法の工夫	<p>【現状】分館では、福祉の会主催の麻雀教室・囲碁教室、市の不老体操などが定期的に開催されている。</p> <p>【工夫している点】調理室がないので火を使用しないのでできるメニューを設定し、巻き寿司と簡単おつまみなど湯沸室とレンジを利用して「男子の料理教室」を実施している。</p>
情 報の提供	<p>【現状】ホームページを見やすくするためリニューアルを行った。</p>

② 地域におけるネットワーク機能

利 用者・利用団体 とコミセンとのつ ながりづくり	【現状】「コミセンまつり」では、コミセン利用者が一堂に会し、交流する機会になっている。縁日や展示についても、運営委員・協力員や地域の多くの団体と協力しながら行っている。
地 域とコミセンの つながりづくり	【現状】地域のお祭りである「関前八幡まつり」では、協議会に加えて、関前南小学校 PTA や青少協、福祉の会など計 6 団体が連携して花火大会を開催している。実行委員会形式で実施しており、これらの取り組みを通して、団体間の顔の見える関係性の構築につながっている。

③ 持続可能な協議会の運営

運 営委員・協力員 の人材充実	【現状】若い世代（50 代以下）の運営委員の募集に力を入れている。 【工夫している点】他のコミセンと比較して、運営委員になる要件を緩和している。すべての会議に出席することを運営委員の要件にしまうと若い世代の参加が難しいので、「運営委員会やコミセン行事に年 2 回以上出席すること」という要件にしている。
持 続可能な事業の 実施	【現状】コミセンまつりで小学生による吹奏楽演奏を行ったことで、PTA の方たちの協力も得られている。
活 発な協議会運営	【現状】窓口担当者会議を定期的に行い、窓口対応力の向上と情報共有をおこなっている。